



まるごと

石垣市の女性と男性のひろば



No. 19

2004年春季号

題字：福里由美子

発行／石垣市総務部広報広聴課女性行政係

〒907-8501 沖縄県石垣市美崎町14番地

TEL 0980-82-9911(代)

TEL 0980-82-1243(直)

～石垣市の女性行政～

男女共同参画社会の実現をめざす行動計画「いしがきプラン」の第2次計画策定に向けての基礎資料とする市民アンケート（素案）の検討会議を開催した。

石垣市男女共同参画会議の開催（平成16年3月）



男女共同参画講座 パートⅢ

トークと実演会

広瀬光治トークショー

～ジェンダーフリー・自分らしく輝いて～

講師：(社)日本編物文化協会
理事 広瀬 光治 氏

共催：石垣市
石垣市女性団体ネットワーク会議

平成15年11月実施



……講演時に紹介された資料……

「ニットの貴公子と宿世」

滋賀夕刊新聞社／社長・押谷 盛利

『読者は、広瀬光治さんを知っているだろうか。NHKの編み物教室に出演している人気もので「ニットの貴公子」として超多忙なもてもての男らしい。

ぼくは、不勉強で、この服飾界の星を見落としていたが、偶然にも「週刊文春」で彼を知った。何気なくページを繰ると、ニットのセーターを着た明るいさわやかな笑い顔の男性が高さ10cmほどのアップの写真で出ているではないか。その写真は、胸の上部、首周り、顔と髪に焦点をあてたものだが、一見して30代の青年かと思った。紹介記事によると、昭和30年生まれだから、46歳である。決して若いとは言えないが、その表情や紙面にでてくる阿川佐和子さんとの対談ぶりを見

ると、年齢を感じさせない若さがみなぎっている。

一人の風変わりな優れた天才を目のあたりに見た思いで、ついついすい込まれてこの対談記事に目を通した。

彼は、高校時代から手編みで自分のセーターや家族のものを作ってきたが、そのきっかけは、小学校3、4年生のころのリリヤンだったという。そのころは、おばあちゃんから、カギ針の長編みと細編みを教えてもらった。

小学校時代から家庭科が好きで、運針やミシンが得意だった。手縫いでアヒルのアップリケをつけた裁縫箱を作ったら先生がすごく褒めてくれ、手先を使うことが好きなんだなと自覚したと語っている。……中略……

水産会社に入社。会社の編み物クラブに教えにきていた先生が、「あなた、もったいないわ。学校で専門的に勉強したら」と、専門学校を紹介してくれ、夜間部に通うようになった。彼がもし水産会社に入らなければ、その先生に会えなかったし、編み物の道へ入ることもなかった、と語っている。

ぼくは、ここに来て、宿世（すくせ）という不思議なひらめきを感じたのである。

宿世は、しゅくせ、すぐせ、ともいう。仏教語で過去の世、前世、前世からの因縁、宿縁、と辞書は説明している。……中略……

彼が、ヴォーグ社の試験を受けたとき、幹部は採用が不採用かを迷って社長の面接に下駄をあずけた。社長は最初落とそうと思ったと言う。

編み物をする男は、なよなよしてて、そんなの編集部が強者（つわもの）どもの女の世界でやってゆけるはずがない。1、2年で泣きながら辞めるに決まっている、と、考えたからだが、それでも採用された。

「これからは編み物をする男が出てきてもいい。編集に男の目を見た編み物が出てきてもいい」と思ったからだ。これも宿世。

……中略……

ニットの貴公子・広瀬氏の事を書いたが、彼の語ったところを分析すれば、彼は生まれつき手先が器用で運針やミシンが得意だった。しかし、その器用さを伸

ばず条件が揃わなかったら、宝のもちぐされで世に出ることはなかったかもしれない。その最初の縁は、彼の祖母だった。

……後略……』



男女共同参画講座 パートIV

沖縄県海外女性セミナー

「女性の翼」研修報告と講演会

第20期研修生：石垣市商工会
会員 加藤 伴子
平成15年12月実施



研修地……スウェーデン(ストックホルム)・フィンランド(ヘルシンキ) の11日間

目的： この事業は、県内の女性を海外へ派遣し公的機関、女性の社会活動、女性の起業等の視察研修、制度の調査等を通して国際的視野を広げ、女性の地位向上、社会参画の促進を図り地域づくりに貢献する女性リーダーの育成及び資質の向上を図ることを目的とし行われている。

主催 (問い合わせ先):(財)おきなわ女性財団



※ 研修報告内容は八重山毎日新聞に掲載 (平成16年2月6日～11日)

講演会 「わがまちの財政事情と市町村合併」

講師：八重山市町合併協議会会長 石垣市長 大濱 長 照

「合併しなかったら、こうなる、合併した場合には大規模な計画が可能になる大きな魅力もあること」など、3市町の財政資料をもとに、生まれ島の将来について真剣に考えようと講演を行った。



沖縄県女性団体連絡協議会「35周年記念誌」出版祝賀会

“平和・平等・発展を燈しつづけて”

石垣市内から数名の有志が出席した。

沖縄県女性団体連絡協議会（略称女団協）は、沖縄県内の32団体の女性団体が加盟している。この女団協の特徴は、それぞれ目的や性格を異にし、組織の規模、運動方針等も異なる各女性団体が「1. 男女平等の社会の実現 2. 平和と暮らしを守る」という全女性団体共通の課題に力をあわせて問題解決にあたろうという基本理念で結集している。

（於・那覇市 平成15年11月）



女団協会員の皆さんとっしょに



沖縄県初代女性政策室長 大城貴代子さんとっしょに

石垣市女性団体ネットワーク会議総会

平成15年の事業計画が検討・決議された。当会において第7回まるざーフェスティバルの開催日が決定された。現在市内の26団体の女性団体が加盟している。



第7回

まるざーフェスティバル

テーマ

「かがやき 響き合う やいまの おんなたち」

主催：まるざーフェスティバル実行委員会
石垣市女性団体ネットワーク会議
共催：石垣市

平成16年1月31日、2月1日の両日、市民会館中ホールにて開催された。

市内各地域で地道な活動をしている19の女性団体の活動を紹介するワークショップや「市町村合併」についての講演会が催された。

オープニングセレモニー



保育園児による「童神」

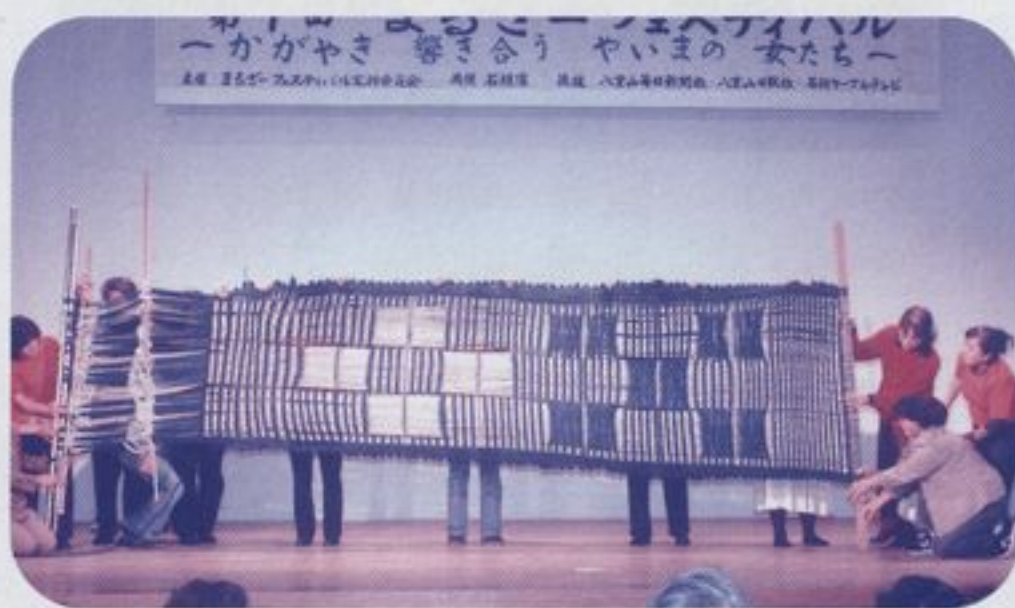


石垣市民踊愛好会の皆さん

潮平俊会長あいさつより…

「次代をたくす子どもたちのためにと考えれば、地道な活動をこつこつと重ねてきたこのまるぎーに集うみなさんのしなやかで、したたかで、聡明な知恵が、自ずから明るく平和で、心豊かな社会の形成に役立つ手段をまちがいなく選択できるものと信じます。この開催が、語り合い、確かめ合い、個性に満ちた各団体との違いを認め合って、普遍的なもの、確かなものを感じ取るよい機会になることを祈っています。」

舞台による 団体紹介



人間機織機に挑む絲ぐるまの会



石垣市人権擁護委員会



八重山地区婦人連合会



石垣市商工会女性部



八重山更正保護女性の会



みーどうんの会・石垣



石垣市民踊愛好会



いつよ会



団体紹介をご覧になる皆さん

ワークショップと場内スナップ



CAP いしがき



石垣市婦人連合会



ミンサー織の実演



沖縄県看護協会
八重山地区



ハートサポート・やいま



沖教組八重山支部
女性部



デコパージュサークル

薬草・ハーブ文化を
はぐくむ会



J A おきなわ
八重山支店女性部



石垣市文庫連絡協議会



児童文化サークル いちご会



児童文化サークル くにぶん木の会



講師の話に耳を傾ける皆さん



市町村合併講演会



エンディング・セレモニー

アンケート結果から：印象に残ったこと

多くの活動の根底にあるのは、子どもを産み育てている女性たちの心からの願い、「平和、子どもの人権、未来への希望、健やかに育てよう」のテーマが小さな力でも継続して活動している姿に頭が下りました。若い人たちの活動、また、先輩達の活動に大きな拍手を送ります。ありがとうございます。がんばってください。健やかな やいまのために。

県外ニュース

「日本女性会議2004まつやま」の開催

と き：平成16年10月22日(金)～23日(土)

と ころ：愛媛県松山市

お問い合わせ先：「日本女性会議2004まつやま実行委員会」事務所

電 話：089-943-5772

Fax：089-943-5809

～ がんばっている女性たち ～

ラジオ、テレビを通して大学教育を行う放送大学



八重山第1号の卒業生

石垣市職員 丸山 さい子

「継続は力なり」……仕事や家事、育児の中での4年間の歳月は大変だったであろう。ややもするとくじけてしまいそうな通信教育、彼女の忍耐強い頑張りに拍手を送りたい。「この機会を通して大きな自信と家族の絆が一段と太く大きくなったことを喜びたい」と述べておられた。



江戸開府4百年記念トータル大臣杯・

第43回記念トータルビューティコンテスト

全国大会（ウエディングドレス部門）

最優秀大賞 知花 明美（安希）

ミンサー織と八重山上布、ハイビスカスをあしらっての南国らしさをアレンジしたウエディングドレス……斬新なアイデアに高い評価が得られての受賞となった。彼女は、「雑草のようにたくましく、しなやかに生きぬくこと」が信条だと言う。また、「自分に続く子ども達を育てるのが目標」だとも付け加えた。堂々とした、自信にみちた口調にたくましさがあり、彼女のバイタリティに力強い生き方を感じた。

男の生活科・かるた

「家事をもっと楽しく上手にこなすために」

<p>と</p> <p>トイレ掃除 ドア、床、スリッパも 忘れずに</p>	<p>と</p>	<p>保育園 パパ行ってらっしゃいと 子どもの笑顔</p> <p>ほ</p>	<p>ほ</p>
<p>ち</p> <p>調味料 使う順は さしすせそ (さ・し・す・せ・そ)</p>	<p>ち</p>	<p>減らす工夫 ゴミの量と 家計の支出</p> <p>へ</p>	<p>へ</p>

～一役を担った やいまの手技のみーどうんたち～

平成16年1月25日～26日に天皇、皇后様の行幸啓の際、視察会場にて「八重山の織物」についての機織の実演、展示のご案内など大役を果たされた方々の感想です。

現代の名工 新垣 幸子 氏

両殿下は、展示物や実演等を熱心にご拝謁くださり、質問等をなさいました。また、琉球藍やいざり機(地機)等について、沖縄の織物に対するご造詣の深さには本当に驚かされました。

それに励ましのお言葉をいただき、ただただ感激いたしております。妃殿下の優しいまなざし、美しいお声は深く印象に残っております。この経験は、生涯の大きな思い出となりました。

上布織にたずさわっている仲間を代表してこのような貴重な機会が与えられ感謝しております。



現代の名工 新 絹江 氏

はじめて両殿下をこの遠い小さな石垣島へ行幸啓下さいましたことに、大きな感動でお迎え申し上げましたが、八重山ミンサー織の実演を展覧いただき、身に余る光栄なことと感謝いたしております。

両殿下におそば近くお言葉をたまわり思いましたことは、八重山の織物をとおしてこれまでの県民のたどった歴史の大変さを感じていただき、織物をとおして沖縄県民へのいたわり、優しいお心遣いがひしひしと伝わって参りました。胸のうち熱く感動でいっぱいでした。

石垣市織物協同組合 理事長 松竹 喜生子 氏

数多い沖縄の織物の中で、八重山のミンサーと八重山上布に関心を持ってご覧になっていただく機会が得られたことがとても光栄に思います。ご案内しておる中で、両殿下の優しさと思いやりに満ちあふれた会話が直接伺えたことも、緊張感の中に心が和み、大役を果たす事ができ大変ありがたく思いました。織りをしていて、このような機会を与えていただきとても感謝しております。

退席の折、天皇陛下からの直々のお言葉「八重山の織物のためがんばってください」とお声をかけていただいた時には、涙ぐんでしまうほど感無量でした。また、多くの方々から、激励の言葉などたくさんいただき責任の重大さを改めて感じました。



写真提供：八重山毎日新聞社・琉球新報社

表紙解説

「まるざー」とは、八重山方言で円座を意味する。老若男女の別なく、円座になって、情報を交換したり、未来を語り合うことを象徴して命名された。

表紙の写真「聖紫花」は、沖縄県八重山諸島にだけ生息する幻の花として知られている。VERA石垣島観測局に近いバナナ岳付近では、春先になると可憐な花が咲き誇っている。平成15年5月国際天文学連合(本部：フランスパリ)・小天体命名委員会において沖縄関係では初めて小惑星が命名され、「石垣と聖紫花」の名が採用された。

写真は、小惑星「聖紫花」の命名者、八重山星の会の新崎善國氏提供。